

2013年7月4日

デルタ航空、2013年8月より日本発着便の燃油サーチャージを変更

【東京、2013年7月4日】— デルタ航空(NYSE:DAL)は、国土交通省の認可を受け、2013年8月1日発券分より、日本発着の燃油サーチャージの金額を変更します。

詳細は下記のとおりです。

デルタ航空日本発券分燃油サーチャージ

1 旅客 1 区間片道当たり燃油サーチャージ額 (単位:円)		
対象路線	2013年7月31日発券分まで (2013年2月27日付国土交通省認可)	2013年8月1日発券分より (2013年7月2日付国土交通省認可)
日本ー北米	23,500	21,000
日本ーハワイ	15,000	13,500
日本ータイ・シンガポール	11,500	10,500
日本ーマイクロネシア (グアム・サイパン・パラオ)・ フィリピン	7,000	6,500
日本ー中国・台湾・香港	6,000	5,500

* 2ヶ月毎に航空燃油(シンガポールケロシン)価格を確認し、予め設定された条件額を下回った場合、もしくは上回った場合、翌々月1日からの変更を関係国政府に認可申請します。シンガポールケロシン市場価格の2ヶ月平均が1バレル当たり50米ドルを下回った場合、本運賃は廃止いたします。

* 上記サーチャージ額は2013年9月30日発券分までの固定額です

* 日本ー中南米については、別途に燃油サーチャージを設けています。2013年7月31日発券分までは片道24,500円、2013年8月1日発券分からは片道22,000円となります。同路線の燃油サーチャージは、上記改定条件に準じません。

* 本サーチャージには割引の適用はございません。大人・小児・幼児ともに同額のご負担をお願いしています。

ただし、座席を使用しない2歳未満の幼児は本サーチャージの対象外となっております。

デルタ航空は年間1億6,000万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。デルタ航空はフォーチュン誌の「2013年世界で最も賞賛される企業リスト」の航空業界部門(2013 World's Most Admired Companies Airline Industry List)において、1位を獲得しました。デルタ航空がこの賞を受賞するのは、この3年で2度目です。デルタ航空およびデルタ・コネクションは、世界66カ国、330都市に向けてフライトを運航しています。米国ジョージア州アトランタに本社を置き、世界で約8万人の従業員を擁し、700機以上の主要機材を運航しています。また、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(ラ・ガーディアおよびJFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に1万5,000便以上のフライトを運航しています。現在、総額30億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部

e-mail: corpcommjapan@delta.com

日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>